

都市再生整備計画(第5回変更)

せい か ち く
精華地区

ぎ ふ た じ み
岐阜県 多治見市

平成23年 8月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	たじみ 多治見市	地区名	せいか 精華地区	面積	116 ha								
計画期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度	交付期間	平成	19	年度	～	平成	23	年度

目標

大目標：道路交通機能の向上による安心・安全でうるおいあるまちづくり

目標1：幹線道路等の整備によって、安全で利便性の高い自動車の交通アクセスの向上を図る。

目標2：快適な歩行空間を確保し、誰もが安心して歩くことのできる生活環境を創造する。

目標3：地域の温暖化を抑制し、過ごしやすく、うるおいに満ちた都市環境を形成する。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

・多治見市は、岐阜県の南南東に位置しており、面積91.24Km²、人口117,662人(平成18年7月1日現在)の都市である(平成18年1月に笠原町を編入した)。JR中央本線・太多線の鉄道交通が通るほか、市内には中央自動車道多治見インターチェンジが立地し、また、国道19号、248号の幹線道路が縦横に走るなど、広域的な交通の要衝であることから、岐阜県東濃地方の産業、経済、文化の要となっている。

・本地区は、市域のほぼ中央部に位置し、古くから市街地を形成してきた地区である。また、地区内には、多治見インターチェンジの出入口が立地するインターチェンジ周辺地区でもあり、本市における広域的な自動車交通の玄関口となっている。

・地区内には、主要な幹線道路である国道19号、248号が横断しているが、近年のモータリゼーションの発展などにより、これらの幹線道路などでは中心市街地や主要な交差点において、ピーク時を中心に渋滞を引き起こしている。

・このため、中心市街地からの通過交通を排除すべく、都市計画道路網構想に準じて環状機能の強化に重点をおき、道路整備を進めているところである。この都市計画道路網構想においては、地区内に位置する(都)国道248号線多治見バイパスは、内環状道路軸として位置づけられ、市中心部で交差する国道19号、248号を連絡する重要路線であるが、計画幅員22m(4車線)に対し、現状は幅員12m、2車線で未整備の状況である。しかも、重要路線であるがゆえに交通量が多く、慢性的な渋滞を引き起こしている現状である。(本市独自の調査では、本路線の平均旅行速度は12.6km/hである)

・したがって、(都)国道248号線多治見バイパスの4車線化を早期実現し、周辺の主要道路及び本路線の渋滞緩和を図ることで、市全域の交通環境の改善及び地区の生活環境への負担を軽減することが望まれている。

・また、本地区～JR多治見駅周辺は、安心歩行エリアに指定されており、歩行者安全施設の整備を進めているところである。本地区には陶都中学校及び精華小学校が位置し、自動車交通の多い幹線道路に交差、並行しながら通学路が設定されている。こうした通学路及び生活道路には、渋滞時に、抜け道利用の通過交通が流入し、歩行者の安全性を脅かしている状況もしばしば見られるため、児童・生徒を含め、地区住民にとっての交通安全対策の実施が望まれている。

・住民生活の防災面での安全対策としては、これまでに、避難所である陶都中学校及び精華小学校へ防災備蓄倉庫を設置し、地区の防災力の向上を図ってきた。今後も避難所となる拠点施設においては、防災機能の向上を図っていく予定である。

・本地区は、広域的な自動車交通の玄関口であることから、インターチェンジへのアクセス路線である(都)国道248号線多治見バイパスの整備に合わせ、うるおいのある賑やかな空間づくりが期待されている。また、夏季の気温が高いまちとして知られている本市においては、市民に温暖化防止策をPRし、様々な取り組みにより気温の上昇を抑制し、過ごしやすいまちの環境をつくるが必要とされている。

課題

「道路交通環境の改善」「安心・安全な生活環境の確保」という都市機能の根本的な質を高めるとともに、うるおいある暮らしやすい生活環境を創造する必要がある。

○主要な幹線道路等の整備によって、円滑な自動車交通流を確保し、安全で快適な自動車の交通アクセスの向上を図る必要がある。

○地区住民にとって、安心で安全な生活環境を確保するため、安心して歩ける歩行空間を整備するほか、地区の防災機能の向上を図る必要がある。

○緑地等の空間整備を図るとともに、市民へのPR、気温上昇を抑制する舗装材を採用するなど、うるおいに満ちた都市環境の形成を図る必要がある。

将来ビジョン(中長期)

○新市建設計画では、新市の将来像を「“躍動、安心、創造をもとめて”『協働で築く緑あふれる交流のまち』とし、基本目標の一つである「賑わいや活力を創り出すまちづくり」の主要事業として「(都)国道248号線多治見バイパス整備事業(多治見インターチェンジ～国道19号)」を位置づけている。

○第5次多治見市総合計画(改訂版2005～2009)では、人が快適に移動できる交通体系の整備において、「中心市街地周辺の交通を円滑にする、多治見インター交差点から国道19号住吉町を結ぶ道路の4車線化」の事業を位置づけている。

○多治見市都市計画マスタープランでは、都市計画道路網構想において、(都)国道248号線多治見バイパスが内環状道路軸として位置づけられており、中心市街地への通過交通を排除する役割を担っている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
交通事故増加率	%	地区内の交通事故増加率をみる。	道路の整備により、交通事故増加率の減少を目指す。	+44	H14→H18	-20	H18→H23
歩行者、自転車利用者数の増加	人/12h	地区内の歩行者、自転車利用者数をみる。	歩行空間の確保により、歩行者・自転車利用者数の増加を目指す。	525	H18	580	H23
地球温暖化抑制に関する地域満足度の向上	ポイント	市民意識調査による満足度評価をみる。	緑地等の整備や道路舗装の改良、市民へのPRにより温暖化の抑制を目標とし、満足度3.0以上を目指す。	2.07	H18	3.00	H23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
・地区内を主体として、市内の道路交通環境の改善を図るため、主要な幹線道路(都市計画道路)の拡幅改良を進める。 ・生活交通の利便性・安全性を向上するため、地区内の生活道路の隅切の設置、線形改良などを進める。		■ 基幹事業 ・(都)国道248号線多治見バイパス ・市道213721号線(道路) ■ 関連事業 ・国道248号線(道路整備事業) ・県道多治見八百津線(道路整備事業)
	・安心して歩ける歩行空間を確保するため、通学路等を整備する。 ・災害に対する防災性を向上するため、防災備蓄倉庫の設置や耐震補強を行い、避難所の機能強化を図る。	■ 基幹事業 ・防災備蓄倉庫設置(地域生活基盤施設) ・市道213108号線(道路) ■ 提案事業 ・通学路整備(地域創造支援事業) ■ 関連事業 ・精華小学校(精華小学校耐震補強工事)
	・うるおいに満ちた都市環境を形成するため、幹線道路の新設改良にあわせ、沿道にポケットパーク等の緑の空間を整備する。 ・特に夏季の気温の上昇を抑制し、過ごしやすい環境をつくるため、市民へのPRや、通行しやすく気温の上昇抑制に効果のある舗装を整備する。	■ 基幹事業 ・ポケットパーク整備(高質空間形成施設) ・市道213109号線(道路) ■ 提案事業 ・コミュニティ花壇設置工事(地域創造支援事業) ・まちのクールダウンPR事業(まちづくり活動推進事業)

その他
○ 事業終了後の継続的なまちづくり活動 ・ポケットパークやコミュニティ花壇については、市と住民ボランティアとの協働により、施設の清掃など、維持管理活動を行う方針である。 ・防災備蓄倉庫については、地元自治会が主体となって、有事の際に有効に活用できるよう、定期的に施設や設備の整備・点検を行う。 ○ 主要な幹線道路(都市計画道路)の整備 ・(都)国道248号線多治見バイパスは、平成18年度から設計・測量等の調査を進めている。今後の用地買収・工事着手に際しては、広報によるPRや説明会などを行い、地元への周知を徹底し、住民の理解と協力を得て、円滑な事業推進に努める。 ・環状機能を有する市内の他路線についても、順次事業を推進するなど道路網の整備を積極的に進め、本地区内及び市内のより一層の交通環境の改善に努める。 ・地区内の温暖化を防止するため、遮熱性舗装の採用を検討する。

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	2,936	交付限度額	1174.4	国費率	0.4
---------	-------	-------	--------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
道路		(都)国道248号線多治見B'Yハス	多治見市	直	L = 640m	H19	H23	H19	H23	2,689	2,689	2,689		2,689
		市道213108号線	多治見市	直	L = 250m	H20	H23	H20	H23	11	11	11		11
		市道213109号線	多治見市	直	L = 440m	H20	H20	H20	H20	37	37	37		37
		市道213718号線	多治見市	直	L = 270m	H20	H23	H20	H23	26	26	26		26
		市道213719号線	多治見市	直	L = 40m	H20	H23	H20	H23	4	4	4		4
		市道213720号線	多治見市	直	L = 140m	H20	H23	H20	H23	7	7	7		7
		市道213721号線	多治見市	直	L = 230m	H20	H23	H20	H23	19	19	19		19
		市道211800号線	多治見市	直	L = 280m	H23	H23	H23	H23	12	12	12		12
公園														
古都及び緑地保全事業														
河川														
下水道		-			-									
駐車場有効利用システム		-			-									
地域生活基盤施設		-	多治見市	直	-	H20	H23	H20	H23	13	13	13		13
高質空間形成施設		-	多治見市	直	-	H22	H23	H22	H23	24	24	24		24
高次都市施設		-			-									
既存建造物活用事業														
土地区画整理事業														
市街地再開発事業														
住宅街区整備事業														
地区再開発事業														
バリアフリー環境整備促進事業														
優良建築物等整備事業														
住宅市街地総合整備事業	拠点開発型													
	沿道等整備型													
	密集住宅市街地整備型													
	耐震改修促進型													
街なみ環境整備事業														
住宅地区改良事業等														
都心共同住宅供給事業														
公営住宅等整備														
都市再生住宅等整備														
防災街区整備事業														
合計										2,842	2,842	2,842	0	2,842
提案事業														
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直 / 間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費
						開始年度	終了年度	開始年度	終了年度					
地域創造支援事業	コミュニティ花壇設置工事	北市場豊園南	多治見市	直	670㎡	H23	H23	H23	H23	60	60	60		60
	通学路整備	陶都中学校周辺通学路	多治見市	直	L = 70m	H20	H20	H20	H20	14	14	14		14
	生活道路修繕整備	市道213736号線他2路線	多治見市	直	L = 335m	H23	H23	H23	H23	13	13	13		13
事業活用調査	事業効果分析調査	-	多治見市	直	-	H23	H23	H23	H23	5	5	5		5
まちづくり活動推進事業	まちのクールダウンPR事業	-	多治見市	直	-	H20	H20	H20	H20	2	2	2		2
		-			-									
合計										94	94	94	0	94
													合計(A+B)	2,936

(参考)関連事業											
事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
					直轄	補助	地方単独	民間	開始年度	終了年度	
道路整備事業	国道248号線	岐阜県	国土交通省	L = 300m							
道路整備事業	県道多治見八百津線	岐阜県	—	L = 350m							